

少子化対策に挑戦する市町村バックアップ事業について

少子化の要因や課題は地域によって異なるため、県と市町村が力を合わせて、少子化の要因等を分析し、オーダーメイド型で対策を検討することにより、各地域の実情に応じた効果的な少子化対策の推進を図る。

1 事業内容

新たな少子化対策にチャレンジする市町村に伴走型で人的及び財政的支援を行う。

- ・国の少子化対策地域評価ツールを活用して、市町村の現状分析から課題の把握、対策の検討など、一連の支援を行う。

- ・2年間のサポート

1年目：地域課題把握のための調査等に係る経費について、1市町村100万円を上限に助成（補助率10/10）

2年目：事業実施経費について、1市町村500万円を上限に助成

※事業実施には、国の少子化対策重点推進交付金も活用

- ・2クールで実施

第1クール：R5(2023)～、第2クール：R6(2024)～

2 令和5(2023)年度実施市町村

玉野市、瀬戸内市、矢掛町、奈義町、美咲町

3 スケジュール

6月初旬 実施市町合同勉強会（ワークショップ等）

※以後、県と市町で課題検証等を進めながら随時開催

9月末 2年目に実施する各市町の少子化対策事業の枠組み決定

10月～ 各市町での事業化に向けた支援等